

全国学力・学習状況調査の概要

国語

設問番号	学校の平均正答率
①一	70.0
①二	50.0
①三(1)ア	50.0
①三(1)ウ	70.0
①三(2)イ	100.0
①四	80.0
②一	90.0
②二	70.0
②三	80.0
②四	70.0
③一(1)	80.0
③一(2)	80.0
③二	60.0
③三	10.0

概要

「言葉の特徴や使い方に関する事項」以外は、全国の平均正答率を上回っている。問題形式別では、記述式は全国の平均正答率を上回っていた。

特に成果が見られた問題例

○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができるかを見る問題では、平均正答率が81.8であった。(全国の平均正答率は62.0)

○図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかを見る問題では、平均正答率が45.5であった。(全国の平均正答率は26.7)

○文章を読んで理解したことをもとづいて、自分の考えをまとめることができるかどうかを見る問題では、平均正答率が72.7であった。(全国の平均正答率は56.2)

特に課題が見られた問題例

○言葉の特徴や使い方に関する事項で、日常よく使われる敬語を理解しているかを見る問題では平均正答率が9.1であった。(全国の平均正答率は57.6)

○言葉の特徴や使い方に関する事項で、文章の種類とその特徴について理解しているかどうかを見る問題では、平均正答率が72.7であった。(全国の平均正答率は79.8)

○目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかを見る問題では、平均正答率が63.6であった。(全国の平均正答率は70.2)

算数

設問番号	学校の 平均正答率
①(1)	100.0
①(2)	100.0
①(3)	80.0
①(4)	90.0
②(1)	60.0
②(2)	100.0
②(3)	30.0
②(4)	30.0
③(1)	80.0
③(2)	90.0
③(3)	90.0
③(4)	60.0
④(1)	60.0
④(2)	90.0
④(3)	60.0
④(4)	80.0

概要

全体としても、項目別（観点別、問題形式別）においても全国・大阪の平均正答率を上回っている。

特に成果が見られた問題例

○伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の数字を求める問題では、全員正解であった。（全国の平均正答率は93.4）

○伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために表の中の適切な数の組を用いることができるかを問う問題では、全員正解であった。（全国の平均正答率は88.5）

○正方形の意味や性質を問う問題では、全員正解であった。（全国の平均正答率は87.3）

○3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかを判断する問題では、平均正答率が90.9であった。（全国の平均正答率は56.7）

○伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかを問う問題では、平均正答率が81.8であった。（全国の平均正答率は55.5）

○加法と乗法の混合した整数の計算、分配法則を用いる問題では、平均正答率が90.9であった。（全国の平均正答率は72.4）

特に課題が見られた問題例

○台形の意味や性質について理解しているかどうかを見る問題では、平均正答率が54.5であった。（全国の平均正答率は59.8）

○示された棒グラフと複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて記述できるかという問題では、平均正答率が54.5であった。（全国の平均正答率は56.2）

すくすくウオッチの概要

理科

評価の 観点別	学校の 平均正答率
知識・技能	75.3
思考・判断・表現	72.7

概要

大きく上回っているわけではないが、すべての項目において大阪府の平均正答率を上回っている。

特に成果が見られた問題例

○月の観察記録に必要な内容を理解しているかを見る問題では、全員正解であった。（大阪府の平均正答率は88.3）

○閉じ込められた空気の性質を利用している身の回りの例を選択する問題では、平均正答率が54.5であった。（大阪府の平均正答率は45.0）

特に課題が見られた問題例

○方位磁針の正しい使い方を理解しているかを見る問題では、36.4であった。（大阪府の平均正答率は37.5）

○気象衛星の雲画像とアメダスの降水量の画像から、今後の天気の変化を考察する問題では、平均正答率は18.2であった。（大阪府の平均正答率は23.7）

○乾電池2個と豆電球1個からなるカイロで、乾電池を直列つなぎにしたときと並列つなぎにした時の豆電球の明るさの違いを理解しているかを問う問題では、平均正答率が27.3であった。（大阪府の平均正答率は26.0）

わくわく問題（教科横断的な問題）

観点別	学校の 平均正答率
A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	93.9
B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	63.6
C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	86.4
D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	77.3
E 興味関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	100.0

概要

問題によってばらつきがあるが、全項目において大阪府の平均正答率を超えている。

特に成果が見られた問題例

- 資料の内容を理解し、タブレットPC 端末に使われていると考えられるセンサーを答える問題では、全員正解であった。（大阪府の平均正答率は80.4）
- 資料にふさわしいイラストを答える問題では、全員正解であった。（大阪府の平均正答率は83.8）
- 何をするとところかを伝える記号をかき、記号にしたものと、記号にどのような工夫をしたのかを書く問題では、全員正解であった。（大阪府の平均正答率は88.2）

特に課題が見られた問題例

- アンケート結果の表とそれに関する発言、地図を関連付けて、適切な内容の文を書く問題では、平均正答率が36.4であった。（大阪府の平均正答率は54.3）
- 与えられた資料を関連付けて、身の回りや社会の問題を解決するために、どんなことをするロボットを作りたいかを書く問題では、平均正答率が45.5であった。（大阪府の平均正答率は27.9）

全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチの概要

児童アンケート

概要

自分自身の生活や学習に対する意識についての項目で好ましい回答率が高い傾向にあった。また、取り組みに対する姿勢やねばり強さについては課題となるところがあった。

特に成果が見られたアンケート項目例

- 「その時間のめあてを意識して学習している」という項目について、肯定的な回答率が100であった。
- 「朝食を毎日食べている」という項目について、肯定的な回答率が100であった。
- 「家の中にホッとする場所がある」という項目について、肯定的な回答率が100であった。

特に課題が見られたアンケート項目例

- 「終わるまでに何か月もかかる計画に、最後までずっと興味を持ち続けるのは難しい」18.2であった。
- 「イライラを感じるときは、考え方を改めて落ち着いていられるようにする」という項目について、肯定的な回答率が18.2であった。

結果を受けて

学校が重点的に取り組んでいくこと

(国語)

- ・話すこと聞くことについては、スピーチの時間や他教科での実践的な話し合い活動なども引き続き取り組んでいくことと合わせて、教科書の中の話す聞く単元についても授業改善を行っていきます。
- ・漢字や言葉、敬語などについて、日常生活の中で使える力にしていくようにします。そのために、どの言葉を使えばいいのか考えさせたり、委員会や朝礼、集会などでのセリフを考えさせたりする活動などの機会を増やすようにします。

(算数)

- ・学校全体で、授業のめあて・課題・見通し・自力解決の流れを大切に、ICT 機器を利用して意見交流をする等、授業改善を進めていきます。
- ・図形に関する学習を定着させるために、基本的な求積や図形の構成要素についての理解が進むように授業研究し、発展的な問題につなげられるようにしていきます。

(理科)

- ・児童の理科への関心を高めていくために、自然に親しみをもち、科学的な事柄に興味や関心を持つことができるようにしていきます。身近な物事からの発見などを大切に、学習内容と日常生活とのかかわりについて、多く触れていくように指導していきます。

児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

- ・難しい課題に出会ったときに、過去にどのように取り組んだかを思い出しながら、ねばり強く考えるようにしてください。
- ・目的を持って生活することは、自分自身の成長のためにとっても大切です。みなさんの時間を大切に意識を、これからも持ち続けることができるようにしてください。
- ・自分の気持ちをコントロールするのは難しいですが、人とのかかわりにおいてとても大切な事です。特にイライラする気持ちは相手にいやな気持ちをさせるだけでなく、自分の取り組みもうまくななくなることもあります。イライラした時に落ち着く方法は人それぞれですので、自分に合った方法をさがすようにしてください。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

- ・お様が「どうして」と疑問に思ったり、わからないことが出てきた時はチャンスです。一緒に考えてあげたり、調べ方を教えてあげたりして、新たな知識や技能が習得できるように援助してあげてください。
- ・朝食をしっかりと取っていることから、生活のリズムが整えていただいている様子がうかがえます。日常生活はお子様の成長に土台となりますので、引き続きよろしくお願ひします。
- ・学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回のテストの結果を、今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願ひします